

あるコックさんとネコの話。



ある海の街に住む、
一人のコックさんは、
一匹のネコと出会いました。



「お腹が空いたわ。
私はお魚が好きよ。
何か美味しいものを作ってちょうだい。」

ネコはとても我侷でした。

コックさんは笑顔で

ネコの喜ぶ

美味しい物を

作ります。

コックさんは

世界で一番優しい

コックさんでした。



「美味しいですか？」
「ええ、とても。」
「それはよかった。」
「こんなに美味しい物は
初めて食べました。」
「それはよかった。」
「毎日美味しい物を
食べに来てもいいですか？」
「構いませんよ。
貴方が美味しい顔を
して下さるのなら
私は毎日貴方の為に
美味しい物を作りましょう。」
「まあ、とても素敵ですわ。」



食後には一緒に
唄を唄いましょう。
幸せだった事や、
共に過ごした時間や、
偶然に出会った事や、
日々健やかなる事や、
とても仲良しの事や、
私たちがきつとずつと、
きつとずつといつか
離れ離れになっても、
きつとずつといつか
再び何処かの街で巡り会って
その時も一緒に美味しい物を食べて
素敵な唄を唄う為に。
今日を唄いましょう。



幸福なネコは
お腹も心も満たされると、
眠くなってしまう。
ちよつとオシヤマで我侭なネコは、
本当はちよつびり寂しがりで、
本当はちよつびりのんき屋で、
本当はちよつびり臆病者なのです。
けれどやっばりネコはネコなので、
気まぐれに、突然、
誰も知らない何処かの街へ
ふっと出かけてしまうのです。



「ネコさん。
貴方がいなくなる日、
僕は泣いてしまうと思います。」

「私はネコなので、
残念ながらお約束は出来ませんが、
ただ、ただですよ、
お腹が空いたり、喉が唄いたくなると、
やはり此処へ戻ってきてしまいそうな気がします。
その時はネコを止めてしまおうと思っております。
ネコを止めてしまえば、
きつとずっと貴方の側にいられるでしょう。」

「もし、よろしければ

こちらに来て

一緒に眠りませんか？」

「ええ。」

そうさせていただきますわ。

コックさんの軀は

とても温かくて

いつもイイ匂いがしますね。」

「そうですか？」

ネコさんはいつも小さくて

小さくて可愛らしいですよ。」

「あまり誉めないで下さい。」

私、照れてしまいますから。」



いつか、いつか、

私に似た女の子が

この街へやって来るでしょう。

頸の下を撫でると

ニャーと哭く女の子です。

どうか探して下さい。

必ず見つけて下さい。

貴方が私を忘れなければ

今日、共に唄った唄を忘れなければ、

必ずいつか会えるでしょう。



秘密の合言葉はニャンニャンです。
ニャンニャンですよ。

貴方の作る御飯、世界で一番好き。

貴方の寝てる顔、世界で一番好き。

貴方の台所に立つ横顔、世界で一番好き。

未来の話とかしないけれど

未来の約束とかしないけれど

また必ず会えそうな気がする。

貴方の事。世界で一番好き。

たったそれだけのシンプルな気持ち。



作・絵 ウサムラアヤノ

<http://jasming.com/>

ayano murazumi from TOKYO .
1997 -2009 All Rights Reserved.